

谷田病院主催 / 熊本大学病院 緩和ケアセンター共催
第8回エンドオブライフ・ケアセミナー

『既存のお薬が効きにくい 患者さんへの 基礎研究からの貢献』

ー新薬開発ならびに漢方薬の上手な処方選択ー



東京慈恵会医科大学医学部疼痛制御研究講座 特任教授
痛み脳科学センター センター長

上園保仁先生

【座長】 熊本大学病院 緩和ケアセンター 教授 吉武淳先生

- ・ 日時：2026年10月9日（金）18:30～20:00
- ・ 開催方式：ハイブリッド
会場：熊本大学病院 くすのきテラス3階大会議室 + オンライン（Zoom）
- ・ 対象：エンドオブライフケアに関わる全ての方
- ・ 入場無料／事前申し込み制

適切な症状緩和、特に疼痛管理は、患者のQOLのみならず、がん治療の効果も左右する可能性があることが、近年多く報告されています。よりよく治療し、よりよくケアする、そのために、最新の知識について共に学びましょう。

上園 保仁 先生

日本の疼痛研究・オピオイド薬理学・がんサポーターシップケア研究の第一人者の一人。基礎薬理学をバックグラウンドとしながら、現在は緩和ケア・支持療法へ研究領域を広げ、基礎と臨床を橋渡しする研究を多数手がけている。

お問い合わせはこちら

谷田病院 TEL:096-234-1248 担当：柳原，山口

mail：info@yatsuda-kai.jp

参加申し込みはこちら→

